

平成 29 年度 湖南省立図書館第 2 回図書館協議会 会議記録

- 開催日時 平成 29 年 9 月 20 日(水)午後 6 時 00 分～ 8 時 00 分
- 開催場所 湖南省立甲西図書館 2 階 視聴覚室
- 出席者 図書館協議会委員 10 人、教育部長、事務局図書館長他 4 人
- 傍聴人 5 人
- 議 事
 1. 図書館評価について
 2. 移動図書館のあり方について
 3. その他

■開会

事務局	定刻になりましたので、平成 29 年度第 2 回の湖南省立図書館協議会を開催させていただきます。開会にあたり教育部長があいさつを申し上げます。
教育部長	<p>こんばんは、本年度から教育部長を拝命しました小川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。図書館協議会の委員のみなさまにおかれましては本年度メンバーも新しくなられたということですが第 1 回会議でごあいさつ申し上げるのが本意であります。所用につき欠席させていただいたことをまずもってお詫びいたします。</p> <p>さて湖南省の図書館については年々貸出冊数が伸び悩み、逆に減少しており頭打ちになっているような現実です。協議会の委員のみなさまのお知恵とご意見を頂戴しながら、図書館が地域の方々により良く利用されていくように願うところです。</p> <p>教育部全体としましても十分な予算確保が難しい時代です。そこをみなさまのお知恵・お力をお借りして子どもたち、地域の方々に図書館の利用を図ってもらえるようにしていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
事務局	それでは議事に入らせていただく前に、前回欠席されました委員の方に自己紹介をお願いいたします。
委員	みなさんこんばんは。今回初めて参加させていただきます。私は三雲小学校区で子どもが小学生の時には PTA 会長もさせていただき、私自身は下田生まれの下田育ちの合併前の甲西町で、特に青年会議所ではまちづくりに対する思いがあり活動させていただきました。そんな思いがありますのでまちづくり協議会の活動にも参加したりしたのですが、近年は仕事柄地方を飛び回っていて市内にいる時間も少ないのですが、地元の湖南省が発展して住み良くなればと思い図書館の委員に応募させていただきました。どうぞよろしくお願い申し上げます。
事務局	それでは議事に入らせていただきます。議事進行は会長に議長になっていただきますのでよろしくお願いいたします。
議長	こんばんは。では第 2 回の図書館協議会。みなさまの貴重な時間をいただいております早速議事に入らせていただきます。
事務局	議題 1 の前に前回みなさまからご質問のあった内容についてすぐに回答できなかった事案について先に回答させていただきたいと思っております。

	<p>本日の資料 47 ページにも新聞記事を追加させていただいていますが、障がい者の方へのサービスということで前回ご指摘いただきました朗読資料、デイジー図書サービスを読売新聞のコラムのみなのはどうか？というご質問ですが前回も当事者の方は他の図書館で他誌の朗読サービスを受けていただけなので湖南市だけで全てをカバーしなくても他誌の提供もされていると回答させていただきましたが、産経新聞の産経抄というコラムだけはサービスがカバーされていないということが今回わかりました。それで湖南市としてどうかということで朗読ボランティアの方と相談したところ湖南市の当事者の方のニーズを把握して必要があれば提供する方向性で検討すればどうかという話になっています。</p>
事務局	<p>続きまして資料の 46 ページは年代別の貸出冊数を平成 18 年度と平成 28 年度で表に表しましたが、注視していただきたいのはその年の生まれ年の方が 10 年を経過してどのように貸出冊数に変化があったかということです。これを見ると小学生まではかなりの貸出を行っていた年生まれの方も貸出冊数が激減していますし、その傾向は 60 歳くらいまで続いていますし、逆に 61 歳以降の貸出冊数は平成 18 年度よりも平成 28 年度の方が伸びているという動きになっています。ということでこちらの資料も参考にしてください。</p> <p>また 34 ページ以降の資料 11 は湖南市教育委員会の教育事業評価の図書館に関する部分を抜粋したものをつけさせていただきました。39 ページ以降は本年度の内容になっております。</p>
議長	<p>では 1 番目の議事「図書館評価について」について事務局説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料の赤字の第 1 回の協議会でのご意見を受けて本日訂正していただいた箇所です。また外部評価の部分についてはみなさまの意見を勘案し会長・副会長ご出席のもと協議会からの意見として取りまとめた内容を記載していますので本日ご検討いただきたいと思います。</p> <p>—資料に基づき新たな部分を説明—</p> <p>なお本日委員より「外部評価」についての提案資料と指標に基づく達成状況の年次ごとの数値を提出していただきましたので説明をお願いします。</p>
委員	<p>本日 3 枚の資料をお渡しさせていただきました。「外部評価についての意見」「評価指標に基づく達成状況を年次ごとに数値にしたもの」これは年度ごとにいずれも下がっているということの把握ができればと思いました。それから議題 2 になるのですが移動図書館の「ステーション別の利用状況」です。これは図書館のホームページで検索しても平成 22 年度からしかデータがないので平成 22 年度と平成 28 年度の比較にしましたが、例えば岩根小学校では対比約 38%まで落ち込んでいるという現状で後ほど議論していただければ良いのですが、移動図書館の落ち込みは全体の貸出冊数の落ち込みよりもさらに落ち込んでいるなどと思って見ていました。</p> <p>戻りまして「外部評価についての意見」についてコメントさせていただきます。</p> <p>まず一つ目新庁舎への移転ですが先日市長もタウンミーティングに市内を回られて図書館も新庁舎へ入ると説明されていまして、昨年の協議会の議事録を読ませていただいても施設が決まってからでは意見も通らないので早めに施設の在り方を検</p>

	<p>討されていていざという時に備えられて下さいという提案です。</p> <p>2点目は既に書いていただいておりますが引き続き蔵書管理をキチンとして下さいという提案です。また併せて、除籍本を図書館玄関で市民に無料で提供されている取組が非常に良いと思いますのでそれも書けば良いと思ったのですがこれは29年度からの本格的な取組なのであえて書きませんでした、そういう良い改善点も評価した方が良いと思いますしもし書いても良いなら書いていただいたらどうでしょうか。</p> <p>3点目は冒頭部長さんもおあいさつで言われたように、貸出数等利用状況に関する数値はどこを見ても落ち込んでいます。年間貸出冊数のピーク時これは合併直後の数字ですがそれから比べてかなりの減少です。これは図書館だけでなくもちろん湖南市だけでなく全国的な活字離れという現象ではありますが、ではそういう現状の中で公立図書館としてどうすれば良いのかということをもっと考えたらどうかという提案ですし、本日資料もいただきましたが利用状況の年齢構成や読書傾向を見ながら考えようはないのかという提案です。</p> <p>4点目は本日触れていただけていない点なのですが、コンピューターでの蔵書検索時中身の検索がしづらかったり、事項検索してもなかなかヒットしなかったり使いづらいなあと思っていました。システムのことでなかなか難しいのかもしれませんが考えられるきっかけを作っていただければとあえて提案させていただきましたし、おうみ自治体ネットクラウド協議会で6市での図書館システムの共同調達を図られるのでこういった点が改善されればと期待を持って書かせていただきました。</p> <p>それから(2)の一つ目児童書の貸出冊数はほぼ目標を達成したのですが、前年度(平成27年度)比では94%に留まっています。これは目標値自体をどう見るかによって考え方は変わってくるのですが、目標達成できたから良いということではどうかと思うので「…目標を達成したが、前年度(平成27年度)実績の約94%にとどまっております、近年の減少傾向に歯止めをかけることはできませんでした」と率直に認めた方が良いのではないかと思います。それから積極的な部分は評価するべきと思ったのですが平成29年度取組なのでどうかと思っております。</p> <p>それから二つ目の障がい者サービスについて障がい者・高齢者への取組をしましたと書いておられるのですが先ほどの録音図書の話もですが、たとえば知的障がいをお持ちの方についてどこまで読書ニーズの把握・サービスの提供などもう少し踏み込んだことをそろそろ考えていくことを検討しても良いのではと思います。障がい者への合理的配慮とかバリアを取り除いていくとか、そういうことも図書館としてそろそろ考えるきっかけになればと思いあえて提案させていただきました。</p>
議 長	<p>ありがとうございました。非常にたくさんの提案をいただきました。他の委員の方もお意見あるかと思いますが、最後の提案「障がいのある方の読書ニーズ」等についてご意見いただけますか。</p>
委 員	<p>私が所属しているところには精神の障害をもつ方を中心にした相談支援事業所にいます。中には中学から不登校でひきこもりで過ごした30代40代の人たちが家と病院以外に出かけられる場ということで図書館を利用していたという人もいたのですが、</p>

	<p>小学校時代から不登校だとなかなか自分で検索をしたり、学力的な部分のむずかしさがあったり、それは障がい児だけではなくて本に親しむ環境にない子どもたちは活字であったり落ち着いて安心していい場所に渴望したまま育ってしまうし、その環境は再生産されてしまうというのはみなさん周知のとおりだと思います。</p> <p>知的な部分で自分で求めて近寄っていける方もあれば、例えば知的障がいをお持ちの方であれば我々が同行する時もそうなのですが「静かに」という部分で抑制しなければならないという場面もあって、図書や絵画に親しむということの前にルールということで排除されてしまう。一方で障がい者の絵画や作品ボーダーレス・アートは世界的にも非常に脚光を浴びているのですが、市民と障がい者の交流、触れ合うという部分のあり方というのは検討がいろいろあると思います。単に知的・精神・身体的障がいということもあるのですが、私は家庭的にまた環境的にそういったことに触れたことがない方が安心していただける。特に小学校高学年から中学校くらいの時に学校という集団になじめないという方が安心していれたり、そういう方に対応ができるような例えば日・曜日等を設けるとかそういうことで違った意味の図書館の機能が、単純に図書を貸出したり図書に触れるということだけではなくて、安心できる大人がいるとか安心できる場所であるとかを提供するというのに図書館が貢献できるとか、それは移動図書館というのも同じことだと思うのです。図書を持ってくる大人と子どもと障がいを持つ持たない地域の人が集まるターミナルになって行ければとそういう意見です。</p>
議長	ありがとうございます。その他図書館評価の中でご意見があればご発言をお願いします。
委員	基本的な質問ですが、図書館の新庁舎への移転はいつの予定ですか？決定事項ですか？
事務局	本年4月から市長が市内4か所をタウンミーティングで回っております。東庁舎建て替えの説明なのですがその中で甲西図書館と保健センターも複合施設として併設するという計画であることを説明しておりますが、今後設計金額や財源確保の状況で最終的にどのくらいの規模の建物になるのか決定されますので現段階では甲西図書館移転の計画ではありますが最終的に移転になるかどうかは不明です。
委員	私が聞きたいのは甲西の図書館が石部に行くということではありませんか？
事務局	石部ではなく現計画では東庁舎の建て替えに伴い甲西図書館を複合施設として併設するという計画をタウンミーティングで市民のみなさまに説明しています。
委員	甲西図書館は取り壊すということですか。
事務局	そういう計画です。というのは甲西図書館も夏見の保健センターも借地の上に建っていますのでその借地料をずっと支払続けることの是非が問われており、今後施設の老朽化対策のコストも検討した中で、東庁舎建て替えに伴い複合化することが望ましいということでこのような計画になったということで現段階では平成34年度に移転という予定に計画ではなっています。

委員	新しい図書館ができるとなれば皆さんのご意見を聞いて、本当に使いやすいものが作れる可能性があるということですね
事務局	そうですね。ただ財源に限りがありますので今後は建設費や財源確保の状況で最終的な決定を財政や総務部で行いますので、今の段階で複合化移転が決定ということで正直動けないというところがあります。それと併せて甲西図書館がこの場所で継続していくことも想定して長寿命化に向けて今後の施設の設備維持費であったり試算を行うようにという指示も受けています。
議長	もし移転が決定した場合そこから検討を始めるのは遅いので、資料にも書いていただいている通りそこを見据えて今から備えていかなければならない部分もあるかと思えます。また外部評価に関するその他のことでもそれぞれのお立場で色んな目線でご意見をお願いします。
委員	もう一つすみません。この図書館協議会というのは全国の市町村に必ず設置されているのですか？
事務局	県内全てかどうかはわかりませんがほぼ設置されています。これは設置が義務付けられているのではなく設置することが望ましいと図書館法に謳われているので、滋賀県立図書館も設置されていない時もありましたし旧石部町はありませんでした。裁量は自治体にゆだねられています。
委員	というのは自分たちで考えることは大事ですが先進地事例で新しい図書館をつくられて市民に喜ばれている事例があればそれを参考にとか、実際見に行くとか極論ですが利用させてもらうと机上での議論よりもイメージが沸くこともあるのでは、またそういう事例を国のデータから出せるのなら是非提供いただければと思います。私自身どんな図書館像が良いのか今一つわかりづらくて、たとえば民間委託されている蔦谷さんがやっておられるところとかそっちの方とのサービスの比較とか知りたいなとも思います。ところが近隣にはないし蔦谷図書館の行き詰まりも聞いているので、どういったところが良くて何がダメなのか参考にできるかもしれないし、カフェを作るといふ話もあるが、というのはあまりにも公共性が強すぎると利用者は足を運びにくいとか、しかしカフェばかり注目されると喫茶店になってしまって本来の図書機能が低下すると本末転倒ですしバランス感は難しいと思っているのと。ついでに言うと電子図書化について市としてどのように考えておられるのか、蔵書の中に電子図書も入れていくのか、電子図書を読んでいる人は本を読んでいるのとイコールとお考えなのか。これからどんどん資源がなくなっていく中で出来る物はペーパーレスにしていく時代だと思いますし、逆に電子図書を採用することで活字に戻っていただければ有効だと思うのですが知り合いの本屋さんは電子図書は本ではないと言っています、その辺りの考え方も議論していただければと思います。
委員	何点かありますがまずは3ページの【甲西館の新庁舎への複合化計画について】で内部評価の部分ですが赤字で「職員でグランドデザインについて話し合った」とありますがこれはどういう内容であったのか、例えばこの協議会の中で示していただく機会があるのか、またそれを元にしながら意見を述べる機会があるのか、それを示して

	<p>いただいでみんなで議論ができないのかと思いました。</p>
事務局	<p>今のご意見は昨年度も出ておりましたが、現在の時点で昨年度とあまり状況は変わっていませんし、その時にも回答させていただきましたが現在まだ計画の段階で図書館側からビジョン的なものを検討して準備しておくことは必要ですが今の時点で出すことは情報が独り歩きしてしまう恐れがありますので、状況を見ながらにさせていただきたいということに変わりはありませんし、現段階で協議会へお示しすることは差し控えさせていただきたいです。</p>
委員	<p>グラウンドデザインというのはどこに書架を配置してどういう設備にするのかという具体的な細かいことかもしれませんが、それ以上にもっと大きな、こういう風な図書館を目指します理念的なものも入っていると思います。で、それさえお示しただけませんか。</p>
事務局	<p>ビジョンというのは図書館の性質上そんなに変わるものではないと考えます。第1回の協議会でも方針として示させていただいているとおりで、図書館の基本的な使命というものは大きく変わるものではないと考えていますし踏襲していくものだと考えています。</p>
委員	<p>どうなのでしょうね、昨年の協議会でもずいぶん議論に上がっていたように、図書館の今後の在り方については全体で協議することは大事だと思います。確かに行政的な事情でなかなか公表できないというのはわかるのですがせっかくこういう協議会というものがあるのでその中でそういう議論を深めても良いのではないかと思います。もう一つ昨年の協議会でも出ていた意見で、「かつて甲西の図書館は全国的に非常にたくさんの方にも来られていて素晴らしい図書館だと言われていた、しかし近年はその辺が衰えている」だったのでしょうか、「輝きを失っている」というようなことを言われていまして、もしそういう認識をお持ちなら、この十数年の間でなぜそのようなのか、図書館自身の振り返りがあっても良いのではないかと。すごく気になるのは段々数字が落ちていっていると、それは私も文章に書いたようにいろんな社会的状況があるのかもしれませんが、それはそれとしてもでもここはこういう点で問題があるとか、これはそのようになるのは当然だ、ある意味ではとか。そうするとこれはそこばかりを指標を見るのではなくて、こういう観点から湖南市の図書館は素晴らしい点を活かしていけるのだとか。前からの総括を踏まえてそういう展望の持ち方ができないかと思っていますし、それこそ電子書籍のことも含めてこれからの時代にそういう図書館にしていくか。数で沢山借りてくださるばかりが能ではないというような出し方をするのも一つかと思えます。それからもう一つ平成19年に湖南市立図書館協議会答申というのがある中で今話題に上がりました民営化の件についてもまとめられているのですがこれはそういう経緯でこういうものを出すことになったのか、その辺も教えてもらえますか。もしこういうことを出して図書館協議会として図書館の職員の皆さんと一緒に考えていろんなことを深められるなら答申という手も有りなのかとも思いますので出された経緯がわかりましたら教えてください。</p>

事務局	<p>今のお話で図書館のあるべき姿についての考え方という意見をいただきました。グランドデザインというと建物に注目しがちですが、箱物以外にも先ほどからもご意見いただいているように例えば障がいをお持ちの方に居場所を提供していけないとか、電子図書館を活用して地域に眠る資料を電子化しそれを保存していくとか、そういうことも図書館のあり方でありグランドデザインであると考えています。</p> <p>もちろん複合施設に入った時の具体的な構想も持っていなければなりませんし実際職員の間では協議もしていますしそれに加えてこれまでの図書館はこうだったけれども甲西図書館に関しては28年を経過して現在の利用状況はこうで、しかし過去の輝きを取り戻すためには今どのような働きかけをしなければならないかということを図書館として考えておかなければということがあります。その中で一つ昨年度から図書館サポーターに来ていただき図書館の中にどんどん入ってもらって図書館の運営に携わっていただくようにしています。それも図書館の利用が特に落ち込んでいる中高生や若い年代の人たちを呼び込んで図書館をその方々の活躍の場にしていただくというような仕掛け作りをするのも図書館の今後のあり方で一つのグランドデザインであると考えています。また協議会では本日もすでにご意見の多くをいただいておりますが、一つでもそれをどのようにすれば実現できるのか、本は借りていかれなくてもどのようにして足を運んでくださる図書館にしていくのかについてみなさんからどんどんご意見をいただいて、それを元にこれからの図書館の目指すべき姿というのを考えていければと思います。前回の会議で教育長も申し上げましたが図書館の職員が考えているだけでは行き詰っています。発想も乏しく「それは無理」ということを「やってみよう」という意識にはなっていないので、こちらで叱咤激励していただきつつできる限りやってみる、しかし図書館だけでは無理なことは委員のみなさまのお力で市民を巻き込んでいただきたいというようなこともディスカッションしていければと思います。</p>
委員	<p>それはわかりましたし、今おっしゃったことがまさにグランドデザインでそれをたたき台として出していきたいと思いますが、先ほど今までのものを踏襲しながらと言われると、数字として落ち込んで行っているのにそれを認めるだけかと思います。そうではなく何かチャレンジする部分をここでは話し合いたいし、それにはたたき台的なものがなければ言いたい放題に意見を言うだけで結果何も取り入れられないのではこの協議会の意味がないと思います。</p>
事務局	<p>すみません、先ほど答申の経緯についてもご質問いただいていたのにお答えができておりませんでした。これについては平成19年当時は指定管理者制度の導入時期で図書館においても指定管理でという風潮でした。これは県内どこの市町村においてもそういう流れでした。そこで湖南市の図書館では指定管理では「市民の知る権利」の補償が守られないというようなこと等もあり図書館協議会で研究していただき指定管理は図書館には馴染まないという意見をまとめていただいたという経緯でした。</p>
議長	<p>今の意見、輝きを失っているというのが全くその通りだと思っていて、開館当初は様々な市町村から施設見学にいられて、いろんなことを甲西図書館から発信してい</p>

	<p>来て楽しい場所でした。当時来ていて楽しかった例えばおはなし会とか、講演会は今も継続されていますが、それを継続すること 20 数年前に始めたことを維持するだけで今に至っているだけのように感じています。そうではなく無理のない範囲で1年にひとつでも新たな発信が新たなことを加えると、新たな輝きが少しずつでもキラキラと増えていくのではないかと思います。現状は昔のことを維持して頑張っているだけというイメージなのです。だからそこを皆さまの意見をいただきながら変えていけるのであれば、せっかく色んな分野の方面から委員として来ていただいているので、例えば先ほどのご意見を踏まえて、ひと月に1回だけは児童コーナーのソファの所で、「声を出しても良い。来館の皆さまもご理解下さい。」というような時間を設けるとか、そういう中でまた色んなつながりができて、もしかすると色んなイベントが生まれるとか、それはお金はかけられなくても人が財産なのでそういう人の力を借りて図書館が輝けるよう考えていければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>最初の協議会で教育長が言われたのですが、湖南省はお金がないと、しかし伊丹市の事例を紹介していただいてここは予算をかけずに毎月講座やイベント等を開催されたりとか、今議長がおっしゃられたようなことだと思います。私たちは図書館と市民をつなぐための意見を出すという役割があると思いますが、この評価についてはずっと作業をしているようで、なかなかそういう意見を出しにくいと感じています。評価については「〇〇してほしい」ということではなく、指標があつての評価ですので指標を何パーセント達成しているかで評価するしかないと思うし、評価は評価として次に図書館は何をするのか、それを定期的に発信してはとおっしゃられたのでそういう意見交換がこの場で出来れば有意義な会議になるのではと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>この図書館の理念がどういうもので、そこに向けてどのように図書館を運営するかというのが、私自身はつきり見えていません。そこをしっかり教えてもらいたいですしそのことについても皆さんと一緒に考えていければと思います。また先ほど講演会などの行事を開館当初を維持しているだけというご意見でしたが、私は決して維持できていると思っていません。たとえば講演会にしても講師が悪いというのではなく質的に落ちてきていると思います。それは職員がどこまで熱意を持って「湖南省の現状はこうで、市民にこういう話をしてもらいたい」とかそういうことを調整して事業に取り組んでおられるのかということを疑問に感じていました。そういう意味で展望が見えるとか、質が落ちないようにとか、職員の皆さんが頑張っているのはよくわかりますが、電子図書の話も出ましたが、活字でないとかそれも協議会でもっと議論して、これから子どもたちがどのような環境の中でどう育っていくかという辺りも大事なことだと思います。また子どもの周りの大人を対象にした出前講座の開催も新たな取組みとして積極的に実施されていますが、では図書館としては、乳幼児期の子どものこういう本には触れてほしいとか、こういう本には触れてほしくないといった考え方についても議論できれば良いと思います。</p>

委員	私は石部図書館をよく利用させていただきとても落ち着ける場で好きなのですが、先ほどからグランドデザインの話もあるのですが、石部図書館・甲西図書館2館をどのように考えるかとか、どういう風に進めていくかとか、そこは大変重要だと思います。それと外国籍の方々に平成23年の調査で「日本語がわからないから図書館へ行かない」という回答があったようですが、外国語の図書を備えてはいただきコーナー表示もしていただいているようですが人口比からするとどうなのと思ったり、そういうところにも目を向けていく必要もあると思います。
委員	図書館の利用は本を読みにくるという大前提はあると思いますが、年代別の利用状況を見ても、ある程度のスペースを自分の持ち込みの課題や資料を使えるような、そういう時間を子どもたちに持ってもらって、休息の時間に図書館の本を読んでもらうとか、私は最近岐阜市立図書館へ行くのですが、そこは自習のできるコーナーを設置されています。スペース的な関係で同じようにはいかないにしても、先ほど言われたように石部と甲西があるのでそれぞれの図書館の特徴をもたせるとか、これは学生に限らず大人もですが資格取得のために持ち込みの資料で勉強できるそういう場があると良いなと以前から図書館に対して思っていました。
委員	この会議も時間が限られている中、議論が進むかというとなかなか難しく感じます。いかに効率よく、また伝えたいこともきちんと意見したいのです。うやむやになると会議の意味がないので、しっかり意見をまとめて反映してもらいたいと思います。
議長	せっかく頂戴した意見をひとつでも実現していただかないと。と思います。普段石部にいらっしゃって気がつかれる事ございますか？
委員	利用されている方は少ないという印象を受けています。なにか積極的な取組みがないと施設の継続が危ぶまれるという気はします。
議長	甲西も石部も目的はなんであれ、どうしたら多くの方に来ていただいたり利用していただいたりして、一人でも多くの方に興味を持ってもらえるか皆さまのご意見の中から少しでも出れば良いなと思います。
委員	「利用に応じたサービスの充実」で内部評価Bをつけておられますが、Bは課題はあるものの概ね達成なのですが、課題はあると書いているのに課題が一つも書いていない。なにを課題と内部では考えておられるのかこれをキチンと出していただく必要があるのではと思います。内部評価をもう少し書き加えてください。またそれに対する外部評価で新たな意見ではありますが、いろんなサービスを充実していただこうと思うと職員の専門性を高めることが大切だと思います。湖南市は色んな施策を考えてか、司書採用で雇用されながら他部署に配置されている職員が多いのですが、そういう力のある方をキチンと専門職として配置し活躍していただきたいと思います。
議長	先日学校の図書協力員の方と話をする機会があり、子どもの図書の貸出冊数が減少している点についてどうなのか聞いていたのですが、自分たちも頑張っていると言われていましたし、学校の先生の意識も高いと。図書館の役割として学校との本のやり取りがもっと活発に行なわれると良いと思います。子どもたちは公共図書館と学校図書館をどのように使い分けているのかわからないのですが、学校には限られた本しか

	<p>ないのでそれを図書館の本で補って調べ学習をさらに深める意味でも、協力員さんとのコミュニケーションを深めていただくことで、本の行先が広がるように思います。</p>
委員	<p>教育事業評価 34 ページで主な財源 28 年度は 7000 万円という数字が上がっているのですが、39 ページの主な財源では 1900 万円としか上がっていないのですが内容を見ると人件費が抜けているのですがこれは意図的にそのようにされているのですか？何か意味があれば教えてください。それから 35 ページに除籍目標ということで 17000 冊あげられています。39 ページには同じ目標値として 13500 冊と。これは良くわかっているのですが、先ほどいただいている「サービスの状況・点検」1 ページには除籍の目標はあげられていませんので何か意味があって使い分けをされているのだと思いますが、ただ総括の中で除籍の事は何回か繰り返しお話されているので、この教育事業評価シートと図書館評価の使い分けの意味があったら教えてください。</p> <p>それから「適正な排架」という言葉が出てきますが、どういう意味で使っておられるのか、どういうイメージを持っておられるのか図書館の棚を見ていて思っているのですがこれについては時間がある時にでもお伺いしたいと思います。</p>
事務局	<p>教育事業評価シートの主な財源については、平成 28 年度と 29 年度で記載内容が異なっているのは、教育部からの指示で財源として含む、含まないと変更がありましたのでそれに沿って記載しております。「サービスの状況・点検」については全体的な蔵書管理という観点でするので除籍数について特別に記載はしていません。</p> <p>「適正な排架」については蔵書構成や棚づくりということよりも、利用の少ない図書を書庫へ移動したり、棚に入らない資料を移動したりするといったような意味で「適正な排架」と記載させていただいております。</p>
委員	<p>どういう資料を収集し、それをどういう風に見せていくということが図書館利用者としては非常に気になる点で、簡単な収集方針はお持ちでしょうが具体的に棚を拝見して「なぜこの本が？」というようなことを時々思いますので、また時間がある時にお聞かせ願いたいです。</p>
議長	<p>どういう本を購入してどういう風に置いてというのは、市の職員の方に委ねられており、その部分が指定管理者になると不安な部分があって、そういう意味でも湖南市は図書館に指定管理を導入していないのだと思います。</p> <p>では次の議題「移動図書館のあり方について」に入らせていただきたいと思います。今の移動図書館車が初年度登録から丸 16 年を過ぎ、新たな新車の購入は見込めないということですね。</p>
事務局	<p>はい、新年度予算計上も認められませんでした。現在の移動図書館車のスペックの新車購入に約 2000 万円要します。今の市の財政状況の中で利用割合からみてコスト面から、新車の是非について必要ないということで予算確保もできない状況です。</p>
議長	<p>ただ移動図書館を利用されておられる方も少なからずおられて、そういう方に図書を届ける方法をどうしていくのか、もし移動図書館車が将来的になくなった時にそういう方にどのように図書館を使っていたかということも議論いただきたいと思います。</p>

委員	<p>数字的には確かに落ちているというのが現状です。これをどうとらまえるのかということだと思のですが、これは甲西館の貸出冊数の落ち込み方と共通していますし移動図書館についてはさらにそれよりは落ち込みが激しいのでしょうかまあ似たような状況かなと言えます。実際ご利用いただいている方のニーズがどこにあるのかが、いただいた資料ではわからないので、実際從事して下さっている職員さんの感じておられることで「数字はこうだけれどもこういうことで大事だ」というその辺を教えてくださいたいのと、それからもう1点 22.23 ページで学校教育課の数値で各学校の図書の出冊数や人数が出ていますが、機会があって菩提寺北小の先生とお話しする機会があったので尋ねたらこれは学校図書館の数字らしいですね？それでも菩提寺北小が一番多くて先生も誇らしくされていたのですが、この数値を出されたのは移動図書館の巡回と何か関連付ける意図があるのでしょうか？</p>
事務局	<p>移動図書館の巡回コースの中で小学校の割合が多くを占めているのですが、その小学校には学校図書館に司書も配置されていますので、学校図書館の利用状況が今どのようになっているのかという参考にしていただくためにこの資料を提示させていただきました。</p>
議長	<p>小学校はどこも小学校1年生などの低学年の利用が多いですね、高学年になるほどマツゾウくんの利用は減ってくる。その他の地域のステーションはどういった方の利用が多いのですか？</p>
事務局	<p>やはり自分で車に乗って図書館まで来られない年配層の利用が多いです。また利用の仕方もリクエスト本を事前に頼んでおいてマツゾウくんでお受け取りになられるといったような。</p>
議長	<p>そういうことを考えると、そういう方が利用できる機会がなくなってしまうということは何か必要だと思います。この巡回場所というのはなぜここに決められていつ頃から巡回されているのでしょうか？</p>
事務局	<p>地域の一般ステーションに関しては、今年度から特にまちづくりセンター中心に巡回していますが、他は旧甲西町時代の移動図書館サービス開始当初からです。</p>
議長	<p>現段階では、移動図書館車は次の車は購入しないということなのですが、いつまで運行予定ですか？</p>
事務局	<p>今の車は平成29年3月に車検を済ませましてその車検満了は平成31年3月です。車が動く限りは車検を行い運行を続けたいと考えておりますが、そうは言いましても初年度登録が平成13年ですので今後長期的に運行できるという内容でもないのです、車に依存しないような移動図書館機能を今のうちに考えていかないと、先ほどご指摘いただいたようなお車で図書館に来ていただけないような方が図書館を利用できないということになってしまいますので。</p>
委員	<p>それは今の移動図書館車が運行できなくなったら、代替りの車購入は不可能という前提ですか？</p>
事務局	<p>今年も予算計上に対して認められなかったもので、今後も難しいのだろうと思っております。</p>

委員	<p>確かにこの落ち込み方をみていると、必要なしと財政的には判断されるというのわかりますしそれで仕方がないだから代替サービスを考えるのか、それとも今後さらに車に乗れないお年寄りが増えることが想定される中で、数字はこうだが内容は違うんだという議論の構え方をするのか、図書館協議会としても事務局がどう言ってもムリと言われるなら議論の論点が変わりますし、その点はどのように考えたら良いのでしょうか？</p>
事務局	<p>この話は今年突然とか今に始まったことではなくて、もう何年も前から今の移動図書館が廃車になった次には新たな車の購入は行わないというのはずっと言われ続けていたことで、とりあえず今の車が動く限りは車検を行うということで車検経費の予算だけは確保してきたということなのですが、もう何年の前からずっとこれが最後と言われ続けていますので市の財政的に代わりの車購入の予算確保は見込めない状況です。ただ本日お渡しした資料の中で新聞記事ですが徳島県の方でふるさと納税で移動図書館車を整備しようという計画をされているということもありますので、そういう方向性もあるのかなのかご意見賜れたらと思います。</p>
委員	<p>もう少し調査分析していただかないと、とは思いますが。先ほど移動図書館車へリクエスト本を頼んでおいてそこに取りに来るというお話もされましたが、それなら他の代替案も考えられるでしょうが、来た本の中で選びたい、移動図書館へ行くことが生きがいだとか、ここのコミュニケーションが大切とかいうことは外すことができないと思います。来られることがお年寄りの元気の源になっているのであれば、ただそれがあまりにも少人数であるのならそれは全体のコストにかかる割合の加減もあるでしょうし検討しなければとも思います。ふるさと納税でというのもできると私は思いますが、しかし結局お金集めて新車購入したけど利用されていない、利用率が減っていくだけでは意味がないので、本当に移動図書館車が必要なのか、なくなったらどのようなデメリットがあるのか利用者にアンケートでもしてまとめてもらいたいです。</p>
委員	<p>今年度のマツゾウくんの巡回表ですが保育園への巡回はないのですか？なぜないのですか？</p>
事務局	<p>こちらも予算の削減で保育園幼稚園の巡回コースの見直しを行い最寄りの巡回ステーションを利用させていただいております。</p>
委員	<p>近くの場合なら利用しておられる園もあるかと思いますがあまりないのではと思います。距離的な問題であったりとかで。小さい子どもが一人で図書館までは行けないだからマツゾウくんで月1回でも楽しみにして1冊を借りるそういう活動を永年されてきたと思います。それがプツリと切れたような気がしています。やはりこれからの子どもたちをいかに育てていくのかというのも図書館の一つの役割だと思います。保健センターでのブックスタート事業などで子どもたちを大事に育てていこうという姿勢を持ちながら片や保育園幼稚園への巡回がなくなったので愕然としたのですが、巡回はしてもらいたいという思いはあります。</p>
委員	<p>やめたところへの後追い調査はされていないのですか？そこに行かなくなったことでどのくらい不便になりましたか？とか。まあ声があれば取り上げることもあるので</p>

	<p>しょうが逆に言えばそういう声がないのかとも思いますが、弱者切り捨てになっていないかなど。まあそういう方には直接宅配でお届けする代替案を作りましたということも、今どきそういう流れもくるということもわかりますがそういうこともこの協議会で議論していく必要がありますね。考えられる方法はたくさんあると思います。</p>
委員	<p>私はイワタニランド在住なのですが、こちらは自治会館の中に図書室があつてそこで自治会員の方へ図書の貸出をされています。今お話を聞いていてお年寄りが遠くには行けないのでマツゾウくんへ行ってということですが、各地域、自治会館はある。そこで図書館機能をもし備えておられたら、マツゾウくんがなくなれば図書館と自治会の図書機能が連携して地域での図書の貸出ができるとか、そういう方法もあるのではと思います。他の地域の状況を把握していないのでわかればと思います。</p>
委員	<p>サイドタウンは図書室があつて結構数も揃っています。ただ常時そちらに人がおられるわけでもなく、特定の方がされているので全体のニーズを把握しておられるのかは不明です。</p>
委員	<p>イワタニランドの場合は毎月どのような図書を購入してほしいのか聞いておられたりしていますが、まあそれはひとつの案としてマツゾウくんの今後を考えるにあたってそういういろんなデータがあつた方が良いのではと思います。</p>
事務局	<p>以前は地域文庫という活動を自治会館でやっていただいております。現在はイワタニとあと数か所という市内の状況です。図書館では地域文庫の本の入れ替えの相談やお手伝いなども以前は行っていましたが今はそういうことはなくなりました。図書館ができたことで地域文庫や地域の図書室、公民館の図書室などが段々活動を縮小されてきたという流れだと思っています。</p>
議長	<p>移動図書館の利用を伸ばすための議論をするのか、移動図書館が廃車になるのでその代替案を検討するのかで議論の方向性が違ってくるので前提はハッキリしないと、と思いますが、とりあえず今年度は保育園等の巡回場所を減らされたので段々なくす方向ということですね。</p>
事務局	<p>現段階では車の購入は見込めないもので、その時にどのように地域サービスを展開するのかを皆さまのお知恵でご意見をいただきたいと考えております。</p>
委員	<p>さっきから巡回のなくなったところの意見を聞きに行くように言っているのは、移動図書館の必要性ですごく不便を感じておられるのか、いや別に不便も感じてないし代替サービスも必要ないと思われているのか、それならそれを踏襲して行って結論を出すならわかるのですがお金がないからやめるというのは論外だと思います。本当にお金だけの問題ならクラウドファンディングやふるさと納税等もありますし、ただ利用率が減って行っている方が問題で、結局新しい車を買ったけど利用されないのでは意味がないということです。だからなぜ利用しなくなったのか、また利用されている方の喜びは何なのかも調べていただくと参考になります。</p>

委員	<p>昨年の協議会では2館1車体制は保持する。教育長も同様のことを言われていたがそれが教育委員会の方針だとすれば、たとえ利用率が減っていたとしても、減ったとはいえ昨年でも約5000冊以上はご利用になっているのですからそこをどう見るか、どう評価するのか、廃車ありきの議論はしにくいという気がします。やはりニーズ調査をして必要ないということであれば5000冊以上の利用に対してどのようにお届けするのかを考えて行けば良いと思います。</p>
委員	<p>予算要求に対してキチンとした説得材料がなかったとも考えられませんか？みなさんおっしゃられているようにニーズ調査をして行かないと、一旦なくしたら再度復活させるのは難しいです。</p>
議長	<p>保育園の巡回がなくなったのはなぜですか？</p>
事務局	<p>限られた予算の中で巡回コースの見直しを行った結果です。</p>
議長	<p>では今後増えるということはないのですね。</p>
事務局	<p>はい。ただ小学校への巡回に関しましては、市としては学校図書館があり司書の配置もなされているのに、さらに2重に移動図書館車が巡回することについて議論する必要があるということはありません。</p> <p>今回の資料の年代別の貸出冊数で10年前小学生だった年代の人の年間貸出冊数が約82000冊であったのが、今10年経って年間貸出冊数約26000冊にまで落ち込んでいます。そういった本を借りていないヤングアダルト層という世代に向けて施策を行うことも図書館の役割で、教育長などは例えば帰宅時間を狙ってマツゾウくんを夕方駅に巡回させるというような、移動図書館にはそういう役割もあるのではという考えも持っております。今のままで同じことをやっているのでは正直難しいということもあります。</p>
委員	<p>話をするときに移動図書館の「移動」ということを考えた時に「移動が困難な方」が基本は対象だと思うのですが、図書館に来ること「移動」が困難ということだけを求めておられるのか、それなら電話予約されて「運ぶ」ということに代替するのか。いやそうではなくてそもそも人と触れ合う機会が少ないのでそこに行きたいのか。たぶん移動が少ない方、移動がなかなか難しい方というのは人と触れ合う機会も少ない方と推測されるわけで、例えば今やっておられる「子ども食堂」はあれは貧困だけではなくて、子どもに温かいご飯を食べてもらおうということもそうですが、安心できる大人がいるんだということや、そういう場所がここにあるんだということを伝えるためにあるんだと思っています。そうすると私たちの図書館はどうあるべきかと考えた時にこの市はどんな町になっていこうとしているのかということがあって、その中で図書館は役割としてはここを持ちましょうということだと思います。今日市民憲章をみんなで唱和して、唱和することが目的なのではなく「子どもたちが健やかに育ち障がい者や老人をはじめ誰もが安心して暮らせるまちをつくります」。つくるんですよということを言っていて、その中で図書館が子どもや移動の機会が少ないお年寄りに</p>

	<p>対してできることというのは車で図書を移動することなのか、そこに来られる方はそこに何を求めてこられたのか、コミュニケーションなのか本を読みたいということなのか、たとえば連絡して本を届けることではダメなのか、それとも違う理由があるとか、そこはちがう切り口でいくつかのカテゴリーに分けて分析して協議をしていかないと協議会の時間の中ではできるものではないと思います。かといってこんなまちをつくりたいけれど金はありませんけどやりなさい。儲からなくてもやらなければならないところとか、赤字があっても守らなければならないことはやっぱりあると私は思いますし、そうであれば市民の側も市にやりなさいということではなくて、私たちができることも提案しなくてはいけないわけです。例えば私たち社会福祉法人はうちの場所を提供しますだからサテライト機能として図書を置いて、リクエストがあれば図書館に連絡するとか等、図書の移動ではなくて人々が図書っていうことで集まって、本が借りたくて集まってそこに障がいを持った人が受付をしていますという機会をうちの法人は提供しますとか。</p> <p>うちの地域は先ほどのお話のように地域のお年寄りがいて子どもたちが来たら、本の話をしたり昔の地域の話をするとか、そういうことを年に何回かやってみようとか、そういうサポーターを設けるとか、それはでてきたニーズに対して、その部分が打ち切ることによって欠落するのでそこを補って強めていこう、作ろうという意思のもとに議論すべきであろうかと思うので議論をするための材料はほしいと思います。</p> <p>たぶん「図書の移動」ということだけではない部分がたくさんあって、何のために図書館はあるんだろうとか。私はそれは市民のためだと思うし、ここに書いてあるようなことだと思うのでそれが少しでもできるようになればと思いますし、私は子どもたちを取り巻く環境が良くなっているとは決して思っていないのです。図書が減ったのではなく周りの人と触れ合う機会も減ったと思うし、みんなで遊ぶとか異世代で遊ぶとか、今は遊び方も変わってきていてそういう意味でも非常に変わってきている。しかし大人として大事にしてやらねばならないことはあるので図書では読み聞かせや出前講座とかやってきて、それを市の職員限られた職員だけでやりなさいということではなくて、私たち自身もこういうニーズがあるということであればやれることを、原案をたたき台で出して議論するとか、そういったことはいろんな団体でやったりまち協でやったりそういうところでも議論するとか方法論的に分けていかないと、もう少し掘り下げて「どんな図書館だったら良いのか」を考えることだと思うのですけれども。</p>
委員	<p>移動図書館廃車ありきではないということでのみなさんの意見であると聞かせていただいたのですが、事務局として予算がないからではなく先ほどのグランドデザインとか、湖南省の子どもとかあるいは読書というものに対してどういう風に育てたり実現していくのかということの思い描いた中でこの移動図書館を考えていただきたいと思います。また学校の立場から申し上げますと湖南省教育事業評価シートの37ページの「学校図書館標準」の数値が達成率30.7%とあり教育長は学校図書館に委ねれば良いと言われているようですが30.7%の学校図書館で何を満足させるのか。学校図書館で</p>

	<p>それだけ潤沢なものがあるって子どもたちがそこだけで満足するのかといえば、私も小学校の経験がありますがマツゾウくんが来たらとても喜んでいてあれをみると学校図書館だけで満足していないという現状があるし数字としてこれが出ているのだからその辺は考えていただきたいと思います。</p>
議長	<p>確かに私の子どもも幼稚園の頃マツゾウくんて本を借りてきてとても喜んでおりそれがきっかけで図書館にも足を運んでいたのも、マツゾウくんは湖南省の知的レベルを表すシンボルのようにも思いますし、みなさんのご意見で考えていければと思います。</p>
委員	<p>先ほどからニーズの把握という意見が出ていますので、協議会としてアンケートでも良いので意見をまとめていただくようお願いしたらと思うのですがみなさんどのように思われますか？</p>
議長	<p>では最後のその他になりますが、ご意見をお願いします。 図書館に望まれることをおひとりずつご意見をお願いします。</p>
委員	<p>先ほどのお話で外国人の方のことですが、県下で外国人在住者の比率 3.9%。県全体では 1.6%なので。しかし外国人の方が便利なだけのまちではなくて、せっかく海外から来ていただいているし、今後ますます少子高齢化が進む中でこういう国としっかりやっていかなければならないと。こちらから行くのは大変だがせっかく来てくださっているのでもそこを通じてコミュニケーションが図れていくようなことを考えていくことも大事だと思います。湖南省は様々な国から来られているので文化の宝庫だと思いますので、図書館もそういう方にも足を運んでもらって発信してもらえコミュニケーションの場となるような活動を。湖南省の特徴ですので是非そういうことも目を向けてもらいたい。それからもう一点、湖南省の歴史について湖南省には市史編纂室がないし歴史の語り部が少ないので、湖南省のことを知ったら湖南省を好きになってこのまちを大事に思う人を育てるのが基本だと思っているので来年ロータリークラブで湖南省検定のようなものを作ろうと、そういうことに図書館と連携していきたいと思っています。またアンケートについては是非実施していただきニーズをしりたいと思います。</p>
委員	<p>アンケートについては議論の材料としてお願いしたいです。 それから細かいことなのですが新着図書の本棚に新着図書が並んでいないので、新着図書の表示はとられた方が良くと思います。</p>
委員	<p>「そこに図書館がないから」という意見が、なぜいけないのか、なぜ本を借りないのかと聞いた時に「そこに図書館がないから」という意見をよく耳にします。それなら移動図書館なり、本を届けるなり、本を運ぶという作業は非常に大切ではないかという風にさっきからご意見をお伺いして考えておりました。こうやって評価を我々にさせることも大切かもしれないけれども、われわれ自身が図書館のクラウドデザインを考える中に参画していけるような場っていうのも必要ではないかなと思いますので、また今後そのように運営していただければありがたいと思います。</p>

委員	<p>アンケートについては移動図書館がなくなって困るであろう方の意見は、文章では書けない方もおられるかもしれないので工夫して集めていただくことはぜひお願いしたいです。</p> <p>それから私はこの協議会の委員になって初めて今のこういう状況を知りましたので、私は図書館が好きでよく利用しているのですがそれでも初めて知ったような状況ですので他の利用者の方もこういう状況であるということは知らない方が沢山いらっしゃると思うのです。知らない間にいろんなことが決まって結果だけを知ってしまう。そして私たちもやれと言うだけではなくて、こういうことが私たちならできますよとか、例えば障がいと子どもと図書ということでこういうことを考えたいとか、こういう危機があるんだということを広く例えば障がい者施設の協議会へ来ていただいでできることをやらせていただくようなことの会議をしたいなと思いました。</p>
委員	<p>移動図書館については子どもの本離れの対策のために何らかの形で継続しなければと思います。それから図書館には色々な意味で変わってもらいたいと思うのは、3年前に「英語でチャレンジ」というイベントで図書館を貸してほしいと申し出したところ許可いただけませんでした。「図書館はそんなところではない」ということで。知り合いは甲西駅前のビルを借りてワーキングスペースを作っているのですが自習室として借りることができます。図書館には本を借りに行くだけでなく自習しにいついでに本を借りる。そういう人が集まる場所としての図書館。自習ができてイベントもできる。甲西図書館もカフェをやったといわれるが人が来ないと本も借りられないし、こんなところがあったのかということもわかりませんので図書館の殻を破ったようなことも考えていただきたいと思います。</p>
委員	<p>移動図書館がなくなるというのは今日初めて知ったのですが、これはいろいろ考えればやり方はあると思います。そういうことを協議会で考えていったら良いなと思いました。</p>
委員	<p>アンケートは是非お願いしたいし先ほどおっしゃったように文字でというのが困難な方には聴き取りということでお願いします。またアンケートの内容は事務局の負担もあるでしょうし我々が聞きたい内容もあるので協議会でワーキンググループで行うとか、例えばランドデザインのことにしてもなのですがワーキンググループをもつような方策を考えても良いのではと思いました。</p>
委員	<p>マツゾウくんをどうするかということはマツゾウくんだけの問題ではなくて、今後の湖南市の図書館をどうするか、どのような形で存続して私たちのための図書館であり続けるのかということだと思いますので、いろんなデータを出していただいた上で今この場で、この委員のみなさまで協議していきたいと思いますのでよろしくお願いします。</p>
委員	<p>図書館評価の外部評価で私が提案させていただいたものの取扱いはどうなりますか？それなりに考えて提案させていただいたので協議会としての外部評価の位置づけなので協議会としてどう扱っていただいで、この分は取扱いませんがこの部分は採用しますとか結論付けていただきたいと思います。</p>

議 長	最初の議題の中でご提案いただいた内容に反対意見はなかったので、外部評価として入れさせていただくということではいかがですか？
委 員	表現とかはこだわりませんが、皆さまのご了解がいただけるならこれをベースとしながら、先ほども言いましたようにこういう文章が良いかどうかは会長、副会長にお任せしますので決めていただければと思います。考え方として良いということであるのかお聞かせいただければと思います。
委 員	異議なし。表現とかは必要があれば適正に直していただくとして、言わんとされていることの骨子はその通りで良いと思いますので。
議 長	<p>ありがとうございます。ではそのようにさせていただきたいと思います。</p> <p>またそれ以外に本日頂戴した意見についてもまとめさせていただきもう一度皆さまにフィードバックいたします。</p> <p>では、これをもちまして第2回の図書館協議会を終了させていただきます。</p>

[閉会] (午後 8時00分)